

授業科目名	総合演習	科目コード	K900555
科目区分	専門教育科目	開講時期	前期
学部・学科等	国際学部 教職関係	曜日	火曜
必修・選択区分	選択	時限	9~10
標準対象年次	2~3	授業形態	演習
単位数	2	教室名	演習室6 (峰)
担当教員名	中村祐司 友松篤信 清水奈名子		
電話番号 (代表者名)	中村祐司 (028-649-5181)	e-mail アドレス	yujin@cc.utsunomiya-u.ac.jp
オフィスアワー	(月) 13:00-14:00 中村祐司研究室		
授業の概要	<p>【授業の到達目標】 この授業科目は、教員免許状取得の教職必修科目として、学生が自ら課題を設定し、自ら探究し、討論し、発表するということを実際に学ぶことを目標とする。</p> <p>【前提とする知識・経験】 特別な知識は必要としないが、探求心と積極的な参加の姿勢が必要である。</p> <p>【授業の具体的な進め方】 今年度は、中村祐司、友松篤信、清水奈名子の3人が担当する。それぞれの教員がテーマを設定し、学生はそのテーマに関して資料の探索、問題の発見・提示、考察、討論、発表を行う。各教員のテーマは以下のようである。 中村 国際社会支援の実践に向けて 友松 国際理解教育 清水 国際時事問題を扱う授業の組み立て方</p> <p>【授業計画】 第1回 オリエンテーション (全体のスケジュールと方法について解説する) 第2回 国際社会支援の実践に向けて (1) ガイダンス、グループ編成 (中村) 第3回 国際社会支援の実践に向けて (2) グループ内討論・発表準備 (中村) 第4回 国際社会支援の実践に向けて (3) グループ内討論・発表準備 (中村) 第5回 国際社会支援モデル発表会 (中村) 第6回 国際理解教育 (1) ガイダンス、グループ編成 (友松) 第7回 国際理解教育 (2) グループによる発表準備 (友松) 第8回 国際理解教育 (3) グループによる発表準備 (友松) 第9回 国際理解教育 (4) グループ発表 (友松) 第10回 国際時事問題を扱う授業 (1) ガイダンス、グループ編成 (清水) 第11回 国際時事問題を扱う授業 (2) グループ発表準備 (清水) 第12回 国際時事問題を扱う授業 (3) グループ発表とディスカッション① (清水) 第13回 国際時事問題を扱う授業 (4) グループ発表とディスカッション② (清水) 第14回 総合討論 (この授業で何を学んだか、それをどう生かすかなどについて発表・討論する。)</p> <p>【教科書・参考書・教材】 必要なものは授業時に指示する。</p> <p>【成績評価法】 各教員が、出席、討論・発表等の内容をもとに100満点 (60~69点が「可」以上、10点刻みに「良」「優」「秀」) で、各担当教員が採点し、その平均点を成績とする。3分の2 (10回) 以上の出席は必要条件である。</p> <p>【教員からのメッセージ】 積極的な発言と問題意識の提示を行ってほしい。</p>		